



臨江閣利用者向けエクスクーションプラン

【絹産業の迎賓館だった臨江閣】

群馬の絹遺産群をめぐるエクスクーショントゥアー

移動：貸切バス1台 催行人数15名～30名

1人あたり料金：ロングコース9,500円～ ショートコース7,500円～



日本の近代化と経済発展を支えた群馬の絹遺産群を巡るスタディツアー
臨江閣が群馬の絹産業の迎賓館であったことからの「絹」コースです



【ショートコース】

■9:00 前橋発

■10:00 高山社跡 1時間

明治16年（1883）、高山長五郎は、通風と温度管理を調和させた「清温育」という蚕の飼育法を確立。翌年、この地に設立された養蚕教育機関高山社は、その技術を全国及び海外に広め、清温育は全国標準の養蚕法となった。

■11:30 富岡市内昼食

■12:30 富岡製糸場 1時間30分

明治5年（1872）に明治政府が設立した官営の器械製糸場。民営化後も一貫して製糸を行い、製糸技術開発の最先端として国内養蚕・製糸業を世界一の水準に牽引した。また、田島家、高山社、荒船風穴などと連携して、蚕の優良品種の開発と普及を主導した。

■15:00 高崎駅解散

【ロングコース】

■9:00 前橋発

■10:00 田島弥平旧宅 30分

通風を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平が、文久3年（1863）に建てた住居兼蚕室

■11:30 高山社跡 30分

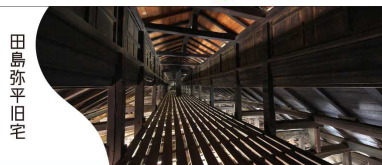
■12:00 富岡市内昼食

■14:00 荒船風穴 30分

明治38年（1905）から大正3年（1914）頃に建造。岩の隙間から吹き出す冷気を利用した蚕種（蚕の卵）の貯蔵施設

■15:30 富岡製糸場 1時間

■17:30 高崎駅解散



田島弥平旧宅



高山社跡



荒船風穴



富岡製糸場